

和歌山スキー協通信

2010. 8. 15 (10-11 NO. 1)

第32回定期総会

7月3日、第32回和歌山スキー協総会が開催されました。出席は4クラブより8名(神谷(ビ)、小林・静川・山本(き)、辻本・石倉・賀城(シ)、中岡(す))。少人数でしたが、活発な論議が行なわれました。

以下、発言メモより。(文責 中岡)

- ・ 神谷会長挨拶——「和歌山スキー協創立の頃、みんな若かった。立ち上げた津田さん、去年亡くなった。市来さんは最近体調崩している。私は少し遅れてスキー協に。残された、生き残っているわれわれが歴史、伝統を受け継ぎ、次の後継者を育てることが大事。昨今の情勢はメンバー増やすの難しくなってるが、どないしたら若い人中心に仲間増やせるか考えよう。」
- ・ 小林理事長挨拶——「和歌山はよう増やしもしせんけども減らしもしせん。打って出ようと思えばどう若い人組織するか。『スノースポーツ』の視点で、話し合っほしい。オリンピックやワールドカップみても、マスコミは無責任(勝てば官軍)。スポーツ連盟の出番。」
- ・ ビュースターの行事、参加者多いのはなぜ？→ランニングの人多い。スキーはうまいが、あんまり行かない。夏の行事はいっぱい寄ってくる。けっこう昔からやっている。20年は続いている。よそのクラブ(ランニングの人)たくさん参加する。加太のランニングクリニックで知り合ったりして。よそへ出かけて行かなあかん。スキー以外のことも大事。
- ・ オフシーズンも含めた活動、スキーを通して

つながりを濃密なものに。

- ・ 若い人はスキーあんまりせえへん。ボードが多い。
- ・ 「クラブ」に入りたがれへん。
- ・ メイトの宣伝紙つかって、様子見ている。
- ・ ボードの子来てくれても面倒ようみたらん。
- ・ 組織部—ビュースターががんばってくれた。きのくには高齢化。スキーできなくても残ってくれている人も。どう若い人集めるか。ボードをなんとか。
- ・ 機関紙部—各クラブに原稿を依頼して書いてもらうように。
- ・ 教育宣伝部—ランニングや登山やってる人にスキーやる人多い。そこへチラシを配ろう。
- ・ 指導員部—シーズン前に指導員会議を開催したい。(研修扱いに)
- ・ レンタル部—ブーツは全部だめ。処分するの大変。日決めて取りに来てもらう。ストックは恐ろしいほどある。
- ・ 平和の取り組み—反核マラソンへの参加、定着した。岩橋さんはいつも高野山から和歌山まで先導してくれる。彼がいなかったらできない。どこに道の膨らみあるかまで把握している。いっことも走れへんのに、頭下がる。

関西ブロック学習交流会

9/11(土)・12(日)、別紙要項でお知らせしたとおり、関西ブロック学習交流会が滋賀県で開催されます。申し込み締め切りが迫っていますので、参加される方は8/28(金)までをお願いします。

総会メッセージ

和歌山スキー協総会に、メッセージを頂きました。紙面にて紹介させていただきます。ありがとうございました。

総会にご参加の皆さん、日頃、全国スキー協の取り組みに協力頂き、有難うございます。特に、関西ブロック主管として2年間の全国スキー競技大会での運営をしていただきました。本当にありがとうございました。

スキー分野は、縮小の一途にあります。そんな中でもスキー協は各地で奮闘しています。スキー場閉鎖には署名活動で、競技、山スキー、ネイチャースキーやスノーボードと多様な取り組みで反撃しています。この勢いをすべてのクラブまで伝えるためにも、和歌山スキー協の役割がますます重要です。総会はそのためのよい機会です。活発な論議で、意思統一されることを全国スキー協始め、各地のスキー協が期待しています。

全国スキー協も6月の総会で新しい会長に栗岩恵一さんを選出し、新しいスキー協の活動を作りだそうとスタートしました。スキー協から情報を発信し、多くの人にスキーの楽しさを広げるよう協力して取り組みましょう。

和歌山スキー協総会にあたってのメッセージと致します。

2010年7月2日 全国勤労者スキー協議会
理事長 石川 正三

紀州のスキー仲間へのメッセージ

新日本スポーツ連盟和歌山県勤労者スキー協議会第32回定期総会おめでとうございます。石倉様、メールや写真を頂いていながらご返事せずみません。

貴スキー協の日頃の活動に敬意を表するとともに、4月のレベルアップではいろいろと大変でしたが中岡様お世話になりありがとうございました。総会に参加し連帯のご挨拶を申し上げたいのですが、法事があり出席できません。メッセージで失礼します。

大変厳しい経済状況、スキー情勢の中、全国的会員後退の中にあって和歌山の元気なシニアのクラブや「楽しいクラブ活動」によって組織を維持していることに敬意を送ります。

貴スキー協が、「和歌山らしい」クラブと役員の間で団結とがんばりで県下全域にクラブづくりを進め、「外に打って出る」活動によって全国方針である当面100名のスキー協にむけ、和歌山の元気なクラブ活動の風を吹かしてほしいと思います。

技術的向上とともに楽しく心通ったクラブ運営で大きく前進されることを祈念し連帯と激励のメッセージを送ります。兵庫もがんばります。

2010年7月3日

関西ブロック議長
兵庫県勤労者スキー協議会理事長
和田利男

発行責任 中岡 大

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 FAX 0736-36-1358

E-mail dai-n@f2.dion.ne.jp 携帯 090-7873-3603